

伊那谷の自然

—断層地帯の山づくりの記録—

製作 長野営林局
著作

■ ねらい

伊那谷にも新しい時代の波が寄せている。山肌、奇岩、溪流の自然美を求め、川下り、桜にあこがれ、古き良き民俗、古民家に心をひかれ、おびただしい人が往来している。高速道路の開通や、工業の移転も急速である。

そして、こうしてやってきた新しい仕事や暮らしは、山との結びつきから少しづつ遠のいてゆくもののように見える。だが、伊那谷は、名だたる断層地帯である。山の自然の改良と、再生をおこたることのできない、山づくりを基本とすべき土地柄なのである。

また昔からの、自然に目を向けた、山づくりにつながる暮らしは、豊かな民俗伝承の土壌であり、伊那谷の心の故郷でもあった。伊那谷の美しさと、ほのぼのとした豊かさの秘密は、こういう暮らしと山づくりと民俗との見えない絆にあったといえよう。

この映画は、この絆にスポットをあてて、伊那谷における、山づくりの大切さ、むずかしさ、特色を訴えるべく自主製作した記録映画である。

■ あらすじ

△伊那谷は豊かで美しい▽

伊那谷は、東に南アルプス、西に中央アルプスが聳え立ち、起伏変化に富む自然が美しい。諏訪湖と広い森林に恵まれ、水も豊かである。古い歴史を誇り、数多くの見事な民俗も伝わっている。こうして伊那谷は、自然も暮らしも心も豊かな里である。

△伊那谷の移り変り▽

古く東山道が開かれてはいたが、谷間の多くは急な山坂に囲まれていた。人々は不便な山の峠を越えて、隣の里と往き来した。古き良きものが残る素地はここにもあった。旧街道の面影に昔が偲ばれる。だが、こういう伊那谷にも開発の波が急速に押し寄せている。

△中央構造線の成り立ちと伊那谷の自然の特徴▽

新しい時代を迎えても、伊那谷の山の自然の特徴と、山づくりの大切さを忘れてはならない。それは中央構造線と呼ばれる断層地帯にあるからである。自然の美しさも、実はこのことと関連している。一億余年の地殻変動の歩みが、これらを教えてくれる。

△地すべり、山くずれを防ぐ▽

激しい断層運動を経ていることから、地すべりや山崩れの起き易い地域がある。昭和三十六年の災害は悲惨だった。山づくりを進めて、これを防がねばならない。これは営林局、営林署の大事な使命である。

△断層地帯の山づくり▽

鹿塩片麻岩をはじめ、断層運動でもまれたもろい岩石地帯では、いろいろの工法が積み重ねられてきている。こうして、昭和初期の白い岩山にも緑が甦った。普通の植林と地すべり防止工事と山腹工事と、伊那谷の山づくりは、まことに多様である。地元の市町村、大学、森林組合、営林署と、地域ぐるみでやるのも特徴である。

△エピソード▽

伊那谷の静かで豊かな暮らしの影に、休まない山づくりがある。山づくりはまた、こういう暮らしを足場として、はじめて進められる。そして山づくりの仕事は、暮らしの糧ともなり、祭りの伝承ともどこかでつながっている。暮らしと山づくりと民俗との、この伊那谷の絆をみんなで守りながら、また明日を迎えたいものである。(Q)

■ スタッフ

監修	小林 正
学術指導	東京大学理学部助教授 鎮西清高
脚本・演出・撮影・現地録音	福島信幸
撮影・現地録音助手	福島道夫
編集	西村和巳
選曲	高山正夫
録音	宮毛貞市
タイトル・線動画	藤成要一
制作協力・現像	深沢康雄
ナレーター	たぐみ映画KK SONY/PCCL 久米 明

△協力▽

信越放送／遠山の霜月祭り保存会（上村程野）／和合の念仏踊り保存会（阿南町）伊那節保存会／長谷村森林組合／向山雅重／真部次郎／中村壽人／内山照美／伊那谷各営林署

伊那谷全図

